

8つの重点政策課題

地域高度情報化の基盤づくり

6

重点政策課題

■ 課題内容

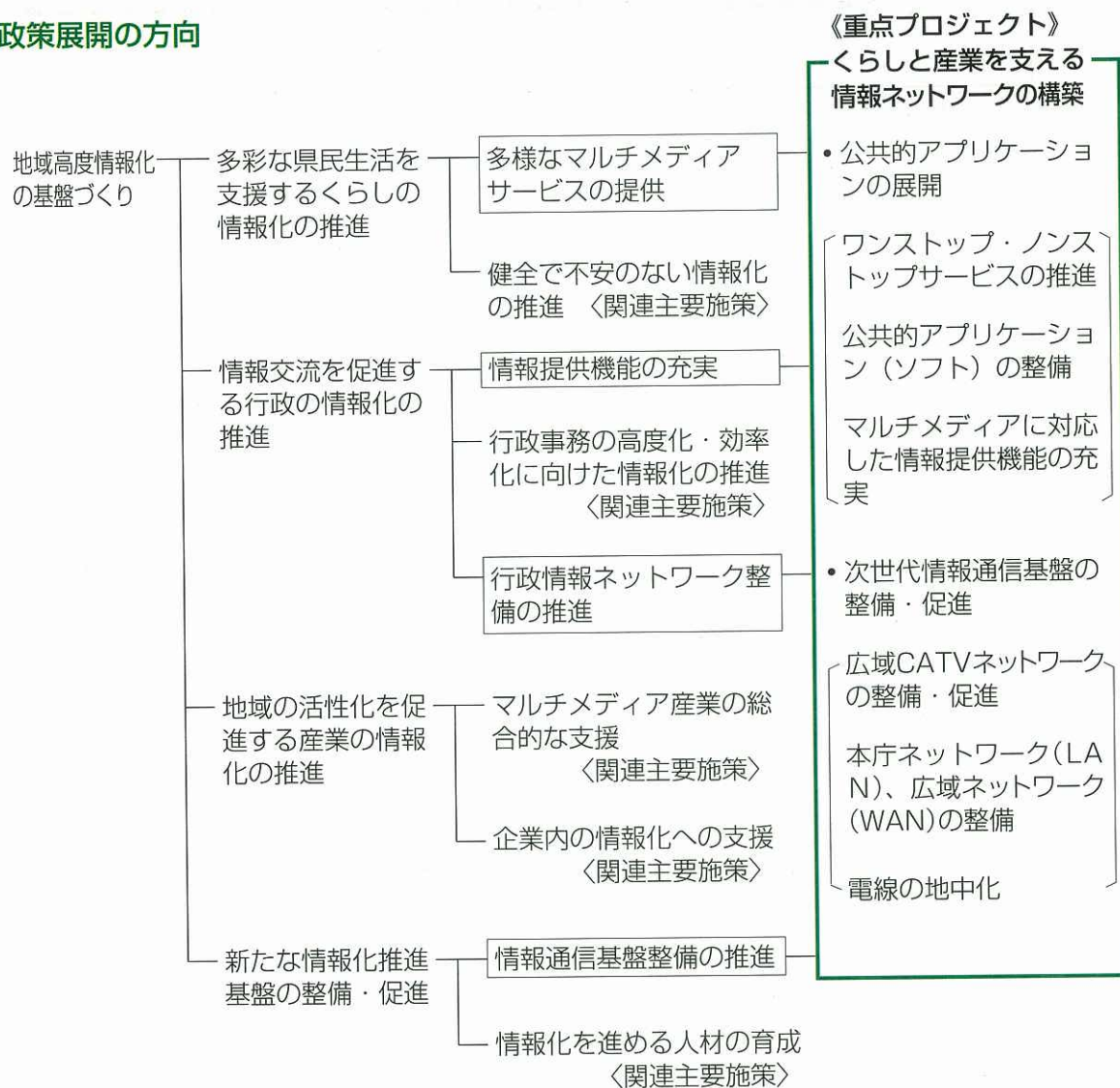
高齢社会への対応や多彩な県民生活の実現、地域経済の活性化などの様々な課題を解決するため、「情報・知識」が自由に創造、流通、共有される「情報ネットワーク社会」を構築することが大きな課題となっています。

このため、進歩が著しい情報技術や情報ネットワークを活用し、多様なマルチメディアサービスを提供するなど、県民のくらしの分野を中心に、情報化を進めるとともに、個人情報の保護などに十分留意し、健全で不安のない情報化を進めます。

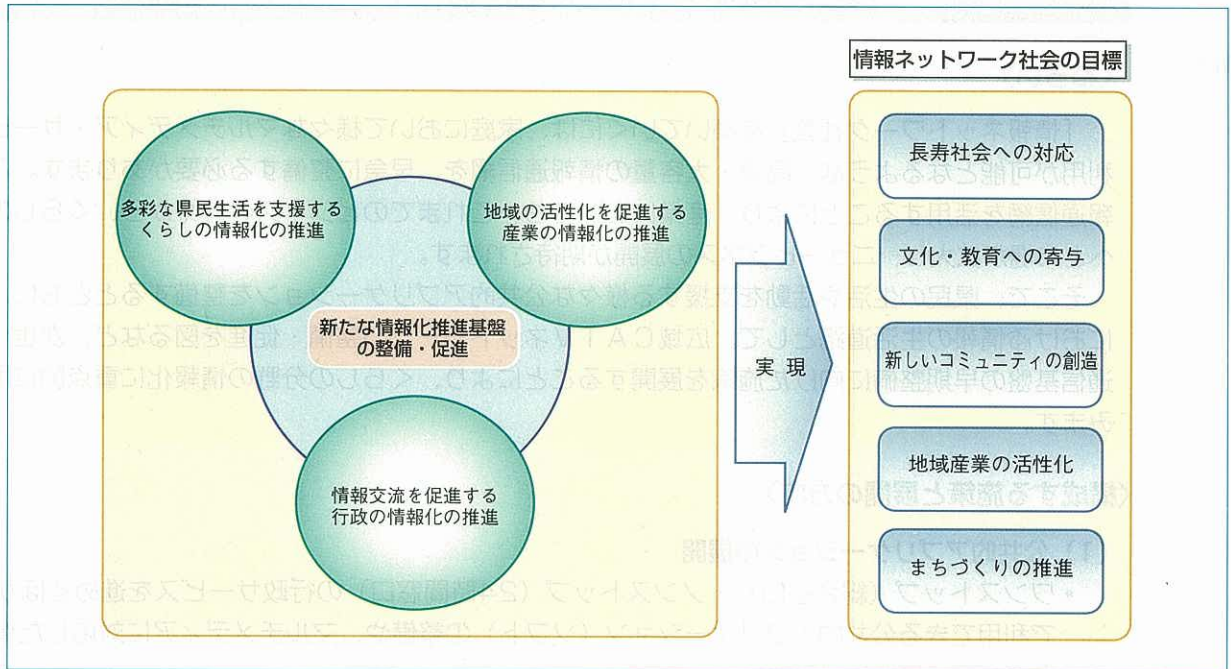
また、県民に開かれた県政の実現に向け、行政の情報化を進めるとともに、新産業としてのマルチメディア産業の振興や既存産業の高度化を促進する地域産業の情報化を進めます。

さらに、こうした情報化の進展を支える、光ファイバ網などの次世代情報通信基盤の整備・促進や人材の育成を進め、県民が主体となる活力ある地域社会（情報ネットワーク社会）の実現をめざします。

■ 政策展開の方向



■ 概念図



街頭で行政情報が得られる情報端末（相模原市）



重点プロジェクト

くらしと産業を支える情報ネットワークの構築

15

重点政策課題

〈ねらい〉

「情報ネットワーク社会」を築いていくには、家庭において様々なマルチメディア・サービスの利用が可能となるような、高速・大容量の情報通信網を、早急に整備する必要があります。この情報通信網を活用することにより、産業においても、これまでのビジネスの分野から、くらしの分野へと市場が拡大し、ニュービジネスの展開が期待されます。

そこで、県民の生活や活動を支援する様々な公共的アプリケーションを整備するとともに、県域における情報の生活道路として、広域CATVネットワークの整備・促進を図るなど、次世代情報通信基盤の早期整備に向けた施策を展開することにより、くらしの分野の情報化に重点的に取り組みます。

〈構成する施策と展開の方向〉

(1) 公共的アプリケーションの展開

- ワンストップ（総合窓口）・ノンストップ（24時間窓口）の行政サービスを進めるほか、家庭で利用できる公共的アプリケーション（ソフト）の整備や、マルチメディアに対応した情報提供機能の充実に取り組みます。

(2) 次世代情報通信基盤の整備・促進

- 県内のCATV網を活用した広域CATVネットワークの整備を促進するとともに、本庁ネットワーク（LAN）、広域ネットワーク（WAN）の整備や電線の地中化を進めます。

〈実施プログラム〉

構成施策	主体	施策実施年度						5年間計(1997～2001)
		97	98	99	00	01	02以降	
(1) 公共的アプリケーションの展開 ・ワンストップ・ノンストップサービスの推進 ・公共的アプリケーションの整備 ・マルチメディアに対応した情報提供機能の充実	県市町村	■						マルチメディア情報端末による行政サービスの検討、パイロットプロジェクトの推進 保健情報ネットワーク、生涯学習情報ネットワーク、図書館情報ネットワーク等の構築・利用促進 インターネットなど多様なネットワークを活用した情報提供の充実、行政情報データベースの整備
	県	■						
	県	■						
(2) 次世代情報通信基盤の整備・促進 ・広域CATVネットワークの整備・促進 ・本庁ネットワーク、広域ネットワークの構築 ・電線の地中化	県市町村、民間	■						広域CATVネットワーク推進協会（仮称）の設置、公的支援のあり方検討 庁舎内の情報通信基盤整備・パソコンやサーバの整備・庁舎間相互の情報通信基盤整備・接続環境の整備 電線の地中化（実施延長24km）
	県	■						
	県	■						